

第 197 回 日本知能情報ファジィ学会理事会議事録

日時：2014 年 3 月 15 日（土） 13:00～

場所：大阪工業大学うめきたナレッジセンター（〒530-0011 大阪市北区大深町 3 番 1 号）

（グランフロント大阪 北館 ナレッジキャピタル タワーC 9 階 セミナー室 1）

出席者：馬野（会長）、林（副会長）、秋山（賞選考）、乾口（将来構想）、工藤（大会事業）、
関（広報）、徳丸（事業）、前田（庶務、会誌）、安信（会計監事）

欠席者：中嶋（副会長）、井上（会計）、星野（電子化検討）、佐藤（他学会連携）、和多田（事業監事）、
三河（オブザーバ：編集委員長）

1. 前回議事録の承認（資料 197-0）

第 196 回理事会の議事録の確認を行い、承認された。

2. 理事会メーリングリスト報告済事項の確認

理事会メーリングリストで既に報告されている以下の事項の確認および報告がなされた。

(1) 評議員の追加についての報告（林）（資料 197-1）

- ・林副会長より、佐賀大の和久屋先生への事務局の連絡が遅れて評議会に間に合わなかったため、通常、評議員は 2 年任期であるが、特例で 1 年にして再任することでお願いしたことが報告された。
- ・本件については、次回評議会のとくに報告することになった。

(2) IFSA 2017 の再 Proposal について（林）（資料 197-2）

- ・林副会長から、IFSA 2017 への日本側 Proposal に対する質問内容と Proposal 修正案が報告された。
- ・Proposal の質問中の重要な項目として、大津が関空から遠い点、日本の交通費が高価である点、日本開催のテーマについての再検討に対するコメントがあった。
- ・Proposal に、関空から大津への交通便のアクセシビリティ、京都や大津のホテルの数と価格の利便性、などを強調し、詳細な予算内容を追加した案を提出したことが報告された。

(3) SOFT Computing Repository (SCR) について（関）（資料 197-3：当日配布）

- ・関理事より、SCR に関して理事会と広報委員会で現在 29 本集まったことが報告された。当初少ないと懸念されていたソフトウェアも意外と多く、バランスよく順調に集まっているとのこと。
- ・関理事より、SCR の契約書については、小島弁護士（大工大高橋先生から紹介）とも相談しており、現在の契約書は体をなしていないことが指摘されたことも報告された。電通大やベクターなどの利用規約（契約書と呼ぶよりこちらが一般的。提供と利用を合わせたもの）を融合して作成してはどうかと考えているとの報告があった。契約書の作成金額は、一般に 15～20 万円程度とのこと。総会でも話をしておくほうが良いとの意見も出された。
- ・理事の中から、個人情報の取扱いポリシーも追加すべきではないかとの意見が出された。
- ・略称は「SOFT CR」と呼ぶことになった。

(4) 横幹連合会員学会年次大会発表の電子化に関する情報提供について（徳丸、前田）（資料 197-4）

- ・徳丸理事より、横幹連合への大会の情報提供（2010 年以降の情報のみ）において、FSS と SCIS を両方掲載するかどうかの提案があり、両方とも掲載することになった。
- ・現在存在する最も古い FSS2010（広島）、FSS2011（福井）のデータが大学の研究室にあるため、学会サーバ（j-soft、カラーチップス管理）にデータを移行することになった。SCR が落ち着いてから、広報委員会のほうで学会 HP に過去の大会情報を集約する方向で検討することになった。

(5) 年会費減免申請について（井上、前田）（資料 197-5）

- ・今回の年会費減免申請の確認作業（障害者手帳のコピーの確認）については、井上理事の確認のみ

で良いことが了承された。

- ・年会費減免者に対する現状確認に関する今後の措置についても、井上理事の記載どおり、障害者手帳のコピーか、または生活保護受給証明書で可であることが確認された。

3. 理事会メーリングリスト審議済事項の確認

理事会メーリングリストで既に審議されている以下の事項の確認と審議がなされた。

(1) 評議会規程の改訂について（林）（資料 197-6）

- ・評議会規程について、林副会長から改定案の説明があり、現規程の特に第5条、第6条が問題であるとの指摘があった。
- ・評議会を代表する長となる人を作ってはどうかという意見が前回出たので、規程を修正した旨の説明があった。評議員の「再任を妨げない」の文言には1回限りと追記すべきという意見が出された。
- ・理事からは多くの意見が出されたので、次の議題（理事等選出規程）とともに同時審議し、馬野会長が両方をまとめて次回までに理事の意見を盛り込んだ修正版を作成することになった。

(2) 理事等選出規程の改訂について（馬野）（資料 197-18）

- ・馬野会長から、現在の理事等選出規程には文字の入力ミス、文言の間違ひが多いことが指摘された。
- ・次期理事の選出については、理事会の権限が及ばないように組織を分離して、理事等推薦委員会を設置する方向で規程の修正がなされた。これに伴い、理事会の推薦や決議の文言は、理事等推薦委員会に変更された。この改訂については、概ね了承された。
- ・今回の規程変更に伴い、定款第10条も修正すべきであるとの意見も出された。
- ・評議会議長、評議員2名、理事1名、監事1名を理事等推薦委員会とすることが了承された。
- ・来年度については9月の臨時総会で理事等推薦委員会を決定し、10月公示という手順で進めることになった。

(3) 学会賞規程の改訂について（秋山）（資料 197-14）

- ・秋山理事より、学会賞規程の改訂について説明があった。会長は、学会賞選考委員会を設置して、ここで一括して理事を決定することについての提案が了承された。この規定に関する内規を学会賞理事が作っておくことになった。次回の理事会にて改訂版を提案し、確定する予定。

(4) 事業期中申請の見直しについて（徳丸）【メール審議事項】（資料 197-7）

- ・徳丸理事から、今年度の期中申請で目的に沿わない申請（赤字の補填など）があったことが報告された。また、今回、東北支部研究会から出された期中申請は使用目的が学生の交通費補助のみであったため、書き換えて補助を一部になるように修正してもらい受理したとの説明もあった。
- ・理事からは、今回は学生旅費のみの申請が問題であったので、そもそも学生の補助のみで期中申請を認めてもよいのかとの意見も出された。このような申請は事業として計画的ではなく、警告を出すべきであるとの意見もあった。また、たとえ学生であっても非会員には補助はできないとの意見も出された。
- ・今後は、学生の旅費補助のみの申請は認めないこと、期中申請の注意事項を加えること、大卒予算（1件10万円で年間10件程度）の見直しをすること、などが決まった。

(5) 事業委員会と理事会の決定権の分担について（徳丸）（資料 197-8）

- ・前田理事から理事会と事業委員会の審議決定権を効率的に分担するため、前述の議題の期中申請については、1件10万円以内の審議は事業委員会で行い、10万円を超えるものや判断が難しい申請についてはのみ理事会で議論してはどうかとの意見があった。提案どおり、10万円を目安にして、それ以下の場合には事業委員会で判断し、報告だけを理事会に行うことで了承された。

(6) 事業報告・計画の提出について（徳丸）【メール審議事項】（資料 197-9）

- ・徳丸理事より、これまで事業報告計画 WEB 入力システムを今回から使用しないで Word 版で提出し

てもらうことが報告された。本 WEB 入力システムは細かなバグが多く、非常に使いづらいとの苦情が多かったこと、事務局も TeX が使えないため効率が悪いこと、システムのバグ修正ができる開発元が現在存在しないこと、などが理由で使用をやめたとの説明があった。

- ・ Word 形式だと書式の統一が難しいが、WEB 入力システムのような無駄な空白が入るといった問題は起こらない。今回は Word フォーマットと昨年度提出された申請の Word 版を添付して代表幹事に送付したことが報告された。
 - ・ 今年度の組織図を作成する必要があることが確認された。事業および予算の報告・計画とともに、6月の総会までに準備することになった。
- (7) 日本学術振興会賞候補者の推薦について (馬野、前田) (資料 197-10)
- ・ 今回は、特に優れた研究業績をもつ該当者がいないため、推薦を見送ることになった。
- (8) JACIII の論文募集掲載について (関) (資料 197-11: 当日配布)
- ・ 関理事から、学会ホームページでの広告料は IJICIC は 5 万円支払ってもらっているが、JACIII は無料のままであることが報告され、学術雑誌は一律に広告料を支払ってもらっても良いのではないかとの提案があった。
 - ・ これに対し、理事からは JACIII は他の雑誌とは異なり、SOFT との関わりが深く、論文投稿者もかなり多いことが指摘された。今回は、FSS, IJAR, IJUFKS, JACIII の 4 国際雑誌は予約購読において SOFT 会員価格を提供していただいているので、希望があればバナーを掲載する権利を与えることとした。そのため、JACIII についてはこれまでどおり掲載料無料のままとすることになった。
- (9) 学会の投稿システムの修正について (三河、徳丸) (資料 197-12)
- ・ 専門分野の選択肢でマルチコアをなくすことについては了承された。本件については、編集委員会に一任することになった。
- (10) Sanchez 教授逝去に関わる学会対応について (馬野、前田) (資料 197-13)
- ・ 馬野会長から、やや時間的に遅くなったが、ML に追悼文を流した旨の報告があった。
 - ・ 学会誌 4 月号に山ノ井先生に追悼を掲載してもらうことに決まった。対応は編集委員会に一任する。
- (11) 学会費滞納者および除名候補者について (井上、前田) (資料 197-15)
- ・ 井上理事が作成した会費滞納者リストについては特に問題なく、除名者の対応についてもこれまでどおりでよいことが確認された。
 - ・ 今回の除名された者から再入会申請を認めることとした。しかし、今後同様なことを繰り返されないような対策が必要であるとの意見が出された。そこで、再入会の手続きを行う際に、会費未納による除名処分を二度と起こさない旨の誓約書を提出してもらうこととなった。また、再入会時に当年度の年会費 (と除名前には会誌を受け取った年度の年会費) を支払ってもらうことにした。これらの手続きは、今回の再入会申請者から適用することを確認した。
 - ・ 脱会意志を示した人で、1 年以上会費精算が完了していない場合は、理事会で審議のうえ除名することができるという運用を行うことを確認した。今回挙げられた退会処理未完了者から適用することとし、全員除名とすることになった。
 - ・ 休会中の会員はそのままにしておくことになった。
- (12) 特別会員の申請について (林) (資料 197-16)
- ・ 林副会長から、今回特別会員に申請があった井ノ口先生は条件に該当するとの説明があり、了承された。
- (13) 理事会懸案事項について (林) (資料 197-17)
- ・ 乾口理事より、会員アンケートは 102 通の回答があったが、まだ開けていないとの報告があった。証人のため複数の委員が集まってから 3 月 28 日に開封する予定であることも報告された。この集計結果を見てからでないと、今後の理事会の方向性も決まらないとのコメントがあった。
 - ・ 林副会長から、会員減少に対する施策は重要な問題であり、サイト会員や学生会員を正会員になる

ようにする施策が必要であるとの説明があった。例えば、学生から正会員になるときには2年くらい会費を半額にするなどの方法もある、とのコメントがあった。

- 会員増加の施策として、理事からは、非会員投稿者にも会員になることを促す、会員に魅力ある学会を作る必要がある、学会の特色（現在 SOFT CR くらい）を打ち出す、などの意見が出された。このためには、中嶋理事の将来構想も重要となる。
- 法人化の問題、他学会との連携、なども理事会の将来目標に加えてはどうかとの意見もあった。

4. 次回理事会について

今回は、会議室が予約できれば4月12日（土）13：30に理事会を開催することになった。